



「ストップ・ザ・無縁社会」 広がれ! 全県キャンペーン

<http://stop-muen.jp>

「ストップ・ザ・無縁社会」全県キャンペーンの最新情報や、支え合いのメッセージをお伝えします。



TOPICS

ともに生きる喜びを実感できる社会に

赤穂市では、12月3日に「障がい者週間 ともに考える市民のつどい」を開催し、約130名が参加しました。市内の小学生、中学生、高校生以上の3部門から募集した福祉作文の大賞作品の発表では、参加者がその内容に涙する場面も見られました。

また、発達障害のある双子の娘たちの育児エッセイを描くイラストレーターの森山和泉氏による講演では、発達障害の特性や関わり方など、日々の子育てを通して感じたことが明るく語られ、参加者も熱心に聞き入っていました。

会場内では、市内の障害者施設等による作品展示・即売会も行われ、集いは盛況のうちに幕を閉じました。



認知症から考える支え合い

加東市では12月10日に「かとう福祉まつり」と「地域ケア市民フォーラム」を開催し、約400名が参加しました。平成28年に社協創立10周年を迎えた加東市社協のあゆみのビデオ上映のほか、市内の作業所による活動紹介や食べ物の販売、ボランティアグループの合唱や作品展示なども行われ、住民との交流を通して地域福祉に関心を持っていただく場になりました。

その後は、ボランティア、市内事業所のケアマネジャー、社協職員ら有志が、認知症の高齢者をきっかけに地域で支え合いが生まれる様子を寸劇で上演し、「支え合いとは何か、自分たちにできることは何か」を考える機会にもなりました。



暮らし続けることができる地域社会に向けて ～集落の活動をヒントに～

淡路市において、1月21日に3回目となる「淡路市集落福祉フォーラム」が開催され、280名を超える参加者が集まりました。人口減少や少子高齢化によるさまざまな地域課題がある中、それでも「助けられたり」「助けたり」の循環が地域でおこる「集落福祉」の魅力について、淡路市社協の庶務局長次長が報告。その後、3つの実践事例の発表と、神戸学院大学の藤井博志教授のコーディネートによるパネルディスカッションが行われました。参加者は、登壇者の発言に、うなずいたり、感嘆したりと、会場が一体となって集落における活動の豊かさに触れる機会となりました。また、毎回、フォーラムに合わせて発行している地域活動事例集『「地参地笑」のススメ』も必見です。



みんなで支え合うまちづくり

三田市では、1月28日に「三田市社会福祉大会」を開催し、住民や福祉関係者など1,070名が参加しました。アニメ「サザエさん」のマスコット役などで知られる声優の増岡弘氏による記念講演では、「サザエさん一家は幸福みつけの達人ぞろい」をテーマに、サザエさん一家からみる家族への思いを語られ、「言葉は相手へのプレゼント。思いを伝え合うのは難しいが、温かい言葉を大切にしよう」と呼び掛けられました。

また、市内事業所・グループによる“ふくしまるシェ”や、「盲導犬と出会おう!」、「ニュースポーツ体験コーナー」など、福祉を身近に感じ、家族で楽しめるイベントが実施されました。

